

ぎ か い の 木

CONTENTS

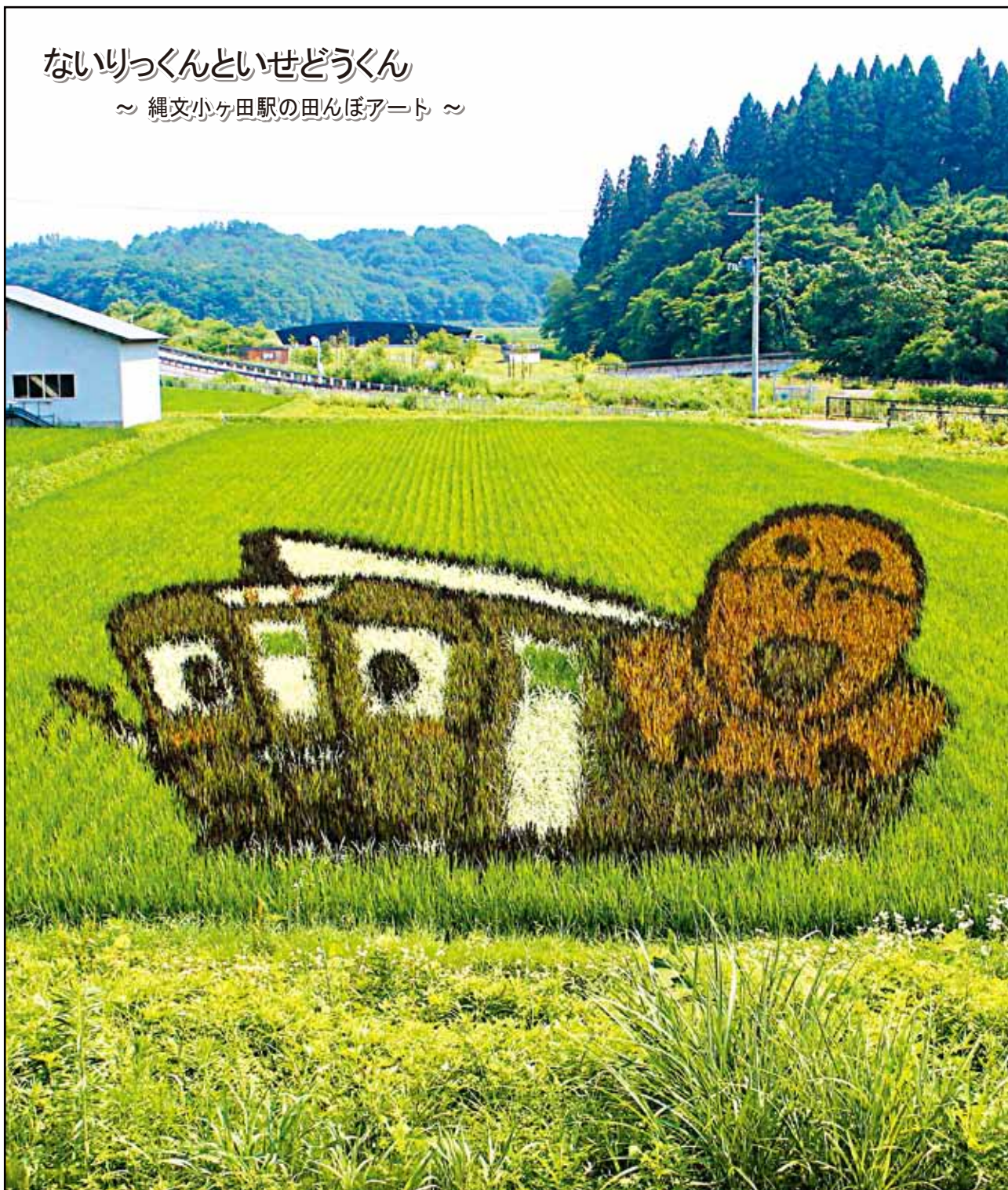
6月定例会の審議……………P2
第2回臨時会……………P3
各委員会の構成……………P4～5
常任委員会審査報告……………P6～7
政務活動費の公表……………P7
一般質問……………P8～13
議会のうごき……………P14

NO.83 令和6年8月1日号

6月定例会などの内容をお伝えします。

ないりっくんといせどうくん

～ 縄文小ヶ田駅の田んぼアート ～



6月定例会最終日の様子は
こちらのQRコードから
ご覧いただけます。



令和6年
6月定例会

令和6年度一般会計補正予算

3億5121万3千円を追加

6月定例会の主な議事

- 専決処分の承認を求めることについて（令和6年度北秋田市下水道事業会計補正予算）
- 北秋田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 令和6年度一般会計補正予算
- 令和6年度各特別会計補正予算
- 令和6年度各事業会計補正予算
- 工事請負契約の締結について（北秋田市消防署阿仁分署新築工事（建築工事））
- 財産の取得について（内部情報系、パソコン）
- 字の区域の変更について
- 北秋田市監査委員の選任について
- 北秋田市坊沢財産区管理委員の選任について
- 北秋田市米内沢財産区管理委員の選任について

6月定例会は、6月6日から6月18日までの13日間の会期で行われました。

今定例会では、条例案4件、補正予算案10件、単行議案5件、報告4件、陳情1件並びに最終日に提出された発議案4件について審議し、いずれも原案のとおり可決及び採択としました。

また、最終日に追加提案のあった監査委員の選任、坊沢財産区管理委員の選任、米内沢財産区管理委員の選任については、いずれも同意としました。

▼令和6年度一般会計補正予算

今定例会に上程された令和6年度一般会計補正予算は、3億5121万3千円を追加し、総額は240億1069万5千円となりました。
主な事業とその予算額は下記のとおりです。

主な補正予算	予算額
高齢者等日常生活支援事業補助金（追加分）	11,000千円
児童手当給付事業	33,973千円
旧鷹巣西児童館解体事業	21,157千円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	77,322千円
市道舗装維持工事	90,000千円
旧阿仁中学校体育館改修事業	33,649千円

第2回臨時会

第2回臨時会が4月26日に開催され、承認5件のほか、指定管理鳥獣のツキノワグマやイノシシ、ニホンジカにより人身被害を受けた市民に対し、人身被害見舞金を支給することを盛り込んだ令和6年度一般会計補正予算など、議案5件について審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

また、2年の任期としていた議会運営委員会及び各常任委員会について、任期満了に伴い、委員の選任を行いました。同じく任期満了の広報特別委員会については、「広報広聴特別委員会」に名称を改め、委員の選任を行いました。（※各委員会構成は4〜5ページに掲載しています。）

第2回臨時会の様子は
こちらのQRコードから
ご覧いただけます。



■議員連盟…議員が特定の目的をもって結成する会のことをいいます。
現在、本市議会には4つの議員連盟があります。

北秋田市議会 各議員連盟が総会を開催

森林・林業・林産業 活性化議員連盟

北秋田市森林・林業・林産業活性化議員連盟の総会が6月18日に行われ、市の森林、林業、林産業の活性化の実現に向けて3つの活動を重点課題として掲げた事業計画案と予算案が提案され、全会一致で承認されました。

また、役員改選が行われ、次のとおり選任しました。

〔会長〕 堀部 壽

〔副会長〕 中嶋洋子

〔事務局長〕 虻川 敬

〔幹事〕 小笠原 寿／永井昌孝

杉渕一弘

〔監事〕 板垣 淳／福岡由巳

秋田内陸縦貫鉄道 北秋田議員連盟

秋田内陸縦貫鉄道北秋田議員連盟の定時総会が6月18日に行われ、秋田内陸縦貫鉄道及び沿線の研究や仙北市議会との意見交換をすることとした事業計画案と予算案が提案され、全会一致で承認されました。

商工会活動を支援する 議員連盟

北秋田市議会商工会活動を支援する議員連盟の定時総会が6月18日に行われ、北秋田市商工会との勉強会や商工関連の研修・視察などを実施することとした事業計画案と予算案が提案され、全会一致で承認されました。

森吉エリア国立・国定 公園化推進議員連盟

森吉エリア国立・国定公園化推進議員連盟の定時総会が6月18日に行われ、森吉山エリアの現地視察調査や国、県の国立・国定公園化に向けた取り組みの進捗状況を確認することとした事業計画案と予算案が提案され、全会一致で承認されました。



皆さまからの「請願・陳情」と意見書提出

件名		
地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての陳情		
請願・陳情者氏名	結果	意見書
連合秋田大館鹿角地域協議会 議長 山内 一滋	採択	提出

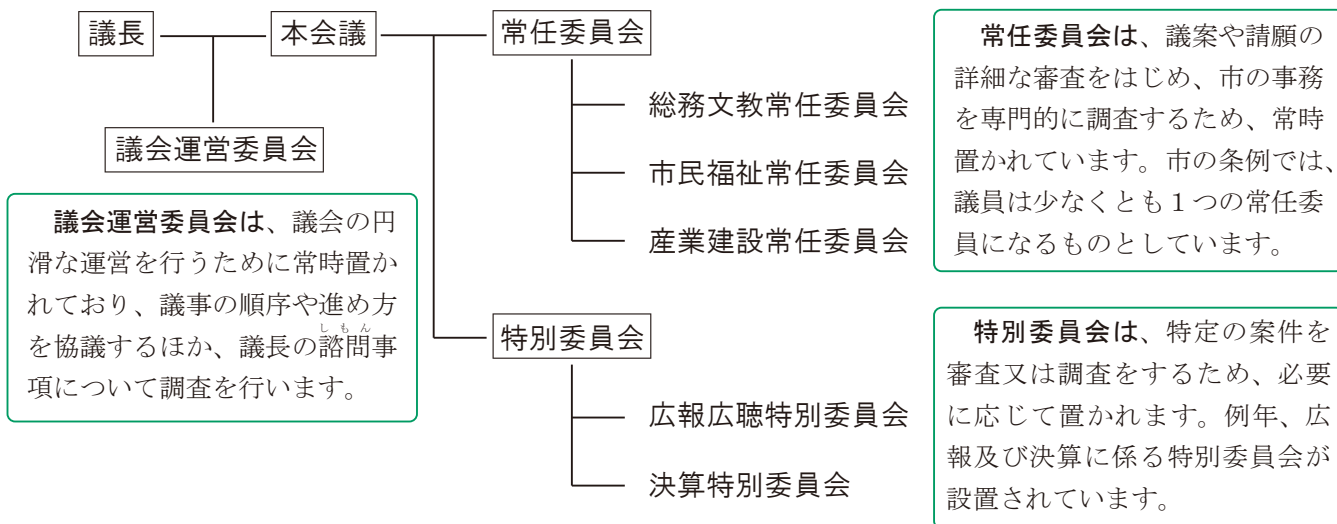
議会見学 鷹巣小・清鷹小

6月10日に鷹巣小学校6年生児童47人、11日に清鷹小学校6年生児童16人が市役所を訪れ、傍聴席から本会議の様子を見学したり、議会事務局職員から説明を受けるなどし、議会の役割などについて学びました。



北秋田市議会では委員会条例で委員会の任期を2年と定めています。
今回、任期満了により、新たに委員会の選任が行われました。

各委員会等の構成



議会運営委員会は、議会の円滑な運営を行うために常時置かれており、議事の順序や進め方を協議するほか、議長の諮問事項について調査を行います。

常任委員会は、議案や請願の詳細な審査をはじめ、市の事務を専門的に調査するため、常時置かれています。市の条例では、議員は少なくとも1つの常任委員になるものとしています。

特別委員会は、特定の案件を審査又は調査をするため、必要に応じて置かれます。例年、広報及び決算に係る特別委員会が設置されています。

※ 各委員会の委員長は◎、副委員長は○で表記しています。

総務文教常任委員会

総務部、財務部、会計課、選挙管理委員会、監査委員、教育委員会及び他の常任委員会の所管に属さない事項を所管します。

長崎 克彦 板垣 淳 杉渕 一弘
○五代儀義富 ◎小笠原 寿 堀部 壽



委員長から一言

小笠原 寿 委員長

総務、財務、会計、教育と市政の根幹を所管とする重要な委員会です。

市の総合計画に基づき提出される議案の審査については、委員間での討議を大切にして、慎重に精査できるよう努めてまいります。

また、所管事務調査などを通じて当局に対し、委員会側から政策提案等が行えるよう図っていきたいと思います。

議会運営委員会

会期・議事日程等議会の運営、議会の会議規則・委員会に関する条例・規則等の制定及び改廃、議長の諮問に関する事項等を所管します。

永井 昌孝 小笠原 寿 虻川 敬
○佐々木正史 ◎杉渕 一弘 三浦 倫美



委員長から一言

杉渕一弘 委員長

当委員会は、議会をスムーズに運営するための話し合いや、年4回の定例会等の日程や本会議の進行手順を確認し、議会に関するルールを決め、円滑に、しかも効率的な議会運営を図ることを主な責務とする議会の中心的な役割を担っております。

議会の運営や活動のあり方、問題点を捉え、開かれた議会になるよう議会改革を進めます。

産業建設常任委員会

産業部、農業委員会、観光文化スポーツ部及び建設部の所管に属する事項を所管します。

福岡 由巳 佐々木正史

○松橋 久敏 ◎虻川 敬 三浦 倫美



委員長から一言

虻川 敬 委員長

私たちは地域の産業に係る委員会です。また、観光に係る事業も守備範囲となります。今後、この北秋田市は、伊勢堂岱遺跡や国立国定公園化される可能性のある森吉山エリア、そして、今後、改装予定の道の駅たかのすなど、市の重要なPR拠点に係る事業がより活発化されてゆきます。市民の声を大切に、より良い地域となるよう活発に議論をまいります。

市民福祉常任委員会

市民生活部、健康福祉部及び消防本部の所管に属する事項を所管します。

佐藤 文信 佐藤 重光 中嶋 洋子

○福田 牧子 ◎永井 昌孝 久留嶋範子



委員長から一言

永井昌孝 委員長

当委員会では、生活する上で身近な環境的な事から健康や福祉、子育てに関わる生活における豊かさや生活のしやすさに直結する事を担います。これからの地方医療の在り方をいち早く捉え、広範囲な当市の医療と健康を守らないといけません。また、人口減少、少子化が進む中で出産、産後に不安を与えない街づくりにも努めてまいります。

広報広聴特別委員会

議会映像配信及び議会広報の発行等調査に関することを所管します。

委員長から一言

五代儀 義富 委員長

今年度、我が委員会に新しい任務が加わりました。「広聴」です。「広報がみんなの知りたいに答えること」ならば「広聴はみんなの言いたいを拾うこと」かと思っています。「俺の話を聞け」という方、「私も一言いいたい」という方、お知らせくださればこちらから伺います。匿名希望でも結構です。委員会宛にご連絡下さい。よろしくお願いいたします。

長崎 克彦 福岡 由巳 中嶋 洋子

○松橋 久敏 ◎五代儀義富 久留嶋範子



総務文教常任委員会 内部情報系パソコンの耐用年数は

【委員長】小笠原 寿 【副委員長】五代儀義富 【委員】杉渕一弘／堀部 壽／板垣 淳／長崎克彦

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案2件、単行議案1件、陳情1件の計6件でした。

令和6年度一般会計補正予算の総務部総務課の審査では、委員から「役職定年は60歳。一方、任期付採用職員は60歳を超えてから役職付になっている例があり、矛盾が生じていないか」との質疑があり、当局からは「任期付採用職員については、今年度からスタートした制度であり、採用に当たっては条例に定めている専門的な資格を有する者、知識経験を有する者などのルールに基づき、市長が今年度新たな部署を設置するに当たり、これまでの知識経験を有する者を役職に充てるという判断のもと任命したもの」との答弁がありました。

財務部税務課の審査では、委員から「定額減税に関して、扶養人数を確認するのが大変だ」という情報があるが、当市ではいかがか。また、減税し

きれない方への調整給付金の通知はいつ頃になるのか」との質疑があり、当局からは「扶養人数の把握は令和5年のデータに基づいており、確認が難しいとは認識していない。給付金については、福祉課が所管する予定であり、通知は8月頃を予定している」との答弁がありました。

単行議案の財産の取得について（内部情報系パソコン）の審査では、委員から「パソコンの耐用年数と更新計画」との質疑があり、当局からは「法定耐用年数は4年となっており、更新計画は予定台数500台を令和4年度から8年度までの5ヶ年で更新する予定」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、全会一致で原案のとおり可決、陳情は採択し意見書を提出すべきものと決しました。

（委員長 小笠原 寿）

市民福祉常任委員会 タクシー移送の対象児童クラブは

【委員長】永井昌孝 【副委員長】福田牧子 【委員】久留嶋範子／中嶋洋子／佐藤重光／佐藤文信

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案7件、単行議案1件の計10件でした。

北秋田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、委員から「北秋田市の基準ではどの施設も15人以下で運営されているか」との質疑があり、当局からは「本事業等については、利用定員が20人以下の小規模の保育事業を対象とするもので市内の対象となる施設はないが、市内保育所等について改正により配置基準が変わることになるが、当市においては改正による影響はない」との答弁がありました。

令和6年度一般会計補正予算のこども課の審査では、児童クラブ移送委託について、委員から「対象児童クラブと利用児童数は」との質疑があり、当局からは「綴子小児童クラブ33名、鷹巣東小児童クラブ31名、阿仁合地区児童クラブ10名で、熊出没等に係る安全確保を図るため、タクシーによる移送費用をお願いするもの」との答弁がありました。

医療健康課の審査では新型コロナウイルスの定期接種について、委員から「補助の対象者に行うのか」との質疑があり、当局からは「令和6年4月からの定期接種がB類疾病に位置付けられ、市町村長による勧奨は必要なくなり個別通知は行わないが、インフルエンザワクチンと同様に、接種時期に広報やホームページ等で全市民への周知を行う」との答弁がありました。

工事請負契約の締結について（消防阿仁分署新築工事（建築工事））の審査では、委員から「新庁舎の面積、機能、現庁舎の解体予定は」との質疑があり、当局からは「現335㎡、新408.77㎡、新たに非常用発電設備、ホースタワー、女性専用仮眠室を備え、R7年度に解体設計、R8年度に解体計画、跡地は駐車場にする計画」との答弁がありました。

（委員長 永井昌孝）

産業建設常任委員会

継業バンクの応募状況は

【委員長】虻川 敬 【副委員長】松橋久敏 【委員】三浦倫美／佐々木正史／福岡由巳

当委員会に付託された案件は、承認1件、予算案3件、単行議案3件の計7件でした。主な審査内容は、一般会計補正予算の審査において、産業部産業政策課の審査では、委員からの継業バンクについての質疑に対し、「伝統工芸や食品加工事業など8件の募集を行ったところ、桶樽の工房、秋田八丈、セリの生産の3件について応募があり、現在活動している」との答弁がありました。

観光文化スポーツ部観光課の審査では、道の駅たかのすについて、委員から「基本計画、基本設計、実施設計、工事期間、完成それぞれの予定をお知らせいただきたい」との質疑に対し、「まだ検討段階であり、アウトドア関係の要素をまず基本計画に盛り込ませていただいて、その後、内容を精査して最終的なスケジュールも含めて議会の方に相談していきたい」との答弁がありました。また、委員からの寄附による花火大会の補助金の使用用途についての質疑に対し、「花火大会の実行委員会開催にあたっては我々も出席して議論に加わった経緯があるが、米代川花火大会についてはどうしても人が確保できないというところで、お金の問題以上人の問題として今のところ7月の開催は見送ったと言われている。今後、そのほかの実行委員会でも高齢化や人手不足というのは言われているので、どういった在り方がいいのか、それぞれの実行委員会の方々とこれから話をしていきたいと思っっている」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、産業建設常任委員会に付託されたすべての事件について全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

（委員長 虻川 敬）

令和5年度 政務活動費の公表

政務活動費は、議員の調査研究活動の充実を図るため、議員活動に掛かる経費の一部を補助するもので、北秋田市では議員1人あたり月額1万円を会派に交付しています。

また、会派に属していない議員については、月額1万円を議員個人に交付しており、いずれも年度終了後には、全支出の領収書を添えた収支報告書が作成され、残額については市に全額返還されています。

（単位：円）

		清明会 (7人)	新創会 (4人)	日本共産党 議員団(3人)	福田牧子	福岡由巳	五代儀義富	計
収入	政務活動費	840,000	480,000	360,000	120,000	申請なし	120,000	1,920,000
	計	840,000	480,000	360,000	120,000		120,000	1,920,000
支出	調査研究費	743,821	490,380	82,000	100,539		0	1,416,740
	研修費	0	0	0	0		0	0
	広報費	0	0	0	36,850		0	36,850
	広聴費	0	0	0	0		0	0
	要請・陳情	0	0	0	0		0	0
	会議費	0	0	0	0		22,810	22,810
	資料作成費	0	0	0	0		0	0
	資料購入費	0	0	31,591	0		0	31,591
	人件費	0	0	0	0		0	0
	事務所費	0	0	0	0		0	0
	計	743,821	490,380	113,591	137,389		22,810	1,507,991
	残額	96,179	0	246,409	0		97,190	439,778

市政を問う！ 一般質問

一般質問は、6月10日・11日の2日間で行われ、11人の議員が登場しました。

中嶋 洋子 議員 (P8)

- ◆古文書について
- ◆公共事業の在り方について
- ◆市の景観について

虻川 敬 議員 (P9)

- ◆指定管理制度について
- ◆庁内の組織再編について
- ◆当市の産業について
- ◆大館能代空港について

板垣 淳 議員 (P9)

- ◆森吉コミュニティセンター 建て替えについて
- ◆地方自治法改定案への見解
- ◆コロナ感染症について
- ◆マイナンバーについて

福田 牧子 議員 (P10)

- ◆高齢者福祉について
- ◆医療サービスについて
- ◆母子保健について

佐々木 正史 議員 (P10)

- ◆北秋田市の観光資源について
- 久留嶋 範子 議員 (P11)**
- ◆人口減少・少子化対策について
 - ◆物価高への対策について
 - ◆市民ふれあいプラザコムコムについて

長崎 克彦 議員 (P11)

- ◆農業振興について
- ◆地方交通対策について

三浦 倫美 議員 (P12)

- ◆公共交通拡充について

永井 昌孝 議員 (P12)

- ◆熊対策について
- ◆自主防災組織について

松橋 久敏 議員 (P13)

- ◆秋田内陸線の支援について
- ◆林業振興について
- ◆廃校の利活用について

福岡 由巳 議員 (P13)

- ◆健康寿命の推進について
- ◆高齢者が利用する施設の改善について
- ◆森吉山荘の運営再開について
- ◆北秋田市史編纂に取り組むことについて

※QRコードから一般質問の映像がご覧いただけます

中嶋 洋子 議員

(清明会)



疑念の持たれない
入札制度に期待！

Q 市文化財収蔵庫に保管されている古文書の整理状況と課題は。

A 情報提供は6件。整理状況は3割程度で貴重な古文書もある。市民に公開できるように目録作成と併せて保存方法も研究する。

Q 解体工事の等級格付基準が、他工種より条件が厳しいのは何故か。

A 各工種の基準は県を参考にしているが、労働災害の抑制や品質確保の観点から、平成27年度に県に先駆けて解体工事の基準を新設したため、違いが生じたものである。

Q 等級格付審査基準や工事発注基準を見直すべきでないか。

A 2年に一度の入札参加審査の申請時期に合わせて内容の見直しを行っている。今後も物価上昇などの社会情勢や関係機関の意見等を

伺いながら対応したい。

Q 入札評価項目を見直す考えは。

A 客観的評価事項と発注者別評価事項の合計点数、各工種の有資格者の保有状況、施工実績額を基に各等級格付をしている。提案の女性活躍推進や職業体験会の開催などを評価項目とすることについては、等級格付審査や入札の方式についても今後の研究課題とする。

Q 市街路樹サポーター制度創設を。

A 街路樹の課題・問題点については、専門業者の定期的な剪定、市直営作業員によるパトロールや清掃作業により、安全確保と緑化機能の維持に努めている。サポーター制度は、誰もが活動しやすい持続可能な共助の取り組みとして今後検討する。



市文化財収蔵庫の保管状況

虹川 敬 議員

(新創会)



未来の指標、
都市計画を作るべき

Q 道の駅たかのすの運営形態を変えた理由は。

A 大太鼓の館は35年が経過し老朽化しているため、リニューアルに伴い、施設の改修を予定しているほか、施設の利用促進目的で入館料の改定を検討していたことから指定管理制度は適さないと判断。4月からは施設管理は市が直営、ガイド受付業務は上町自治会へ委託している。

Q 当市において、現在、都市計画はない。都市計画の策定の必要はないか。また、それを所管する都市計画課は必要ではなかったか。

A 旧都市計画課における業務は、新組織において、建設課に都市計画住宅係、上下水道課に下水

道係を移管し、建設部において、都市計画を含むこれまでの所管業務を推進する体制へと再編した。部内で問題なく連携が取れているので、都市計画課の必要はない。

Q 当市の産業について、成長分野は何と捉え、今後どのような政策が有効であると考えているか。

A 伊勢堂岱遺跡はXR化事業を実施しており、効果は出ている。当市は今後「北秋田市アウトドアグランドデザイン」を基に株式会社モンベルと連携し、アウトドアアクティビティの造成に取り組みしており、アウトドアツーリズムを核とした観光産業の活性化をこれまでに以上に推進する。

Q 市の観光計画を策定し、観光に特化した事業育成に取り組んでは。観光振興に関する計画やビジョンは現時点では策定していないが、必要と認識している。



以前の計画は検証されたか

板垣 淳 議員

(日本共産党議員団)



森吉コミセンは
建て替えを

Q 森吉コミュニティセンターが老朽化している。建て替えが必要でないか。

A 築42年経過した。住民の意見を聞いて検討する。

Q かつて役場の職員は赤紙を配るなど戦争の一翼を担われた。今国会で審議中の地方自治法改定案は、有事の際、国が地方自治体をどうにでも動かせるようにするもの。自治体の長として政府に反対表明を。

A 全国市長会などと連携して対応する。

Q コロナ感染症の公費が廃止された。薬代、ワクチン接種料はいくらになるか。

A 薬は3万円弱。ワクチン接種料は65歳以上4000円、64歳以下

1万5300円。

Q これではワクチンを打つ人はほとんどいないし、コロナに感染しても薬も飲めない。市で補助できないか。

A 考えていない。

Q マイナンバーカードの不安が広がっている。①今の紙の保険証は使えなくなるのか。②マイナ保険証を登録しても実際に使っている人はわずか6%。使っていない人はどうなるのか。

A ①マイナ保険証がない人には保険証として使う「資格確認書」を送るので問題はない。②マイナ保険証を登録してある人は今年12月2日からそれを使うことになる。混乱しないよう説明を尽くしてま



老朽化している森吉コミセン

福田 牧子 議員

(公明党)



市役所と病院受付 支援と産後ケア

Q 市役所窓口の難聴者支援で『軟骨伝導イヤホン』を設置する自治体や病院が増えているが導入は。

A 既に取り組んでいる自治体を参考に検討する。

Q 市民病院の外来患者の呼び出しシステムが番号になり個人情報保護上は有益と思うが、高齢者は適応できていない。呼び出しシステムの再考が必要では。

A 厚生連で統一したシステム。適応できるように丁寧に案内する。スマートフォンにも連動し対応。

Q 音が聞こえにくい人、名前を呼ばれることに抵抗がある患者の呼び出しシステムの導入は。

A 費用・運用を協議し検討する。

Q 紹介状がない患者の診療拒否の相談。あつてはならないこと、見解は。

A 紹介状の有無で受診を断ることはない。予約日の変更にて対応。診療拒否の誤解を招いたのであれば、病院開設者としてお詫びする。

Q 出産直後の母子に対して心身のケアや育児のサポートを行う産後ケア事業の現状と「宿泊型」、「通所型」、「訪問型」の、どのサービスを実施予定か。

A 令和7年度から専門職による「訪問型」の実施を進める。「宿泊型」は、近隣の病院・助産所との連携を検討。

Q 母親の心身の状況を把握し、早期に支援するための支援策は。

A 妊娠8か月頃のすべての妊婦に電話による支援相談を実施。希望者には面談を実施。産後うつ病対策として、スクリーニングとして有効な質問を産後、継続的に実施。



大仙市市役所窓口の軟骨伝導イヤホン

佐々木 正史 議員

(清明会)



北秋田市の 観光資源について

Q 森吉山を中心とした自然を満喫できる環境を整備し、滞留型・体験型観光を推進するとしているが、体験型観光として整備された①「遊遊ガーデン」の現状の把握はできているか。②休止に至った経緯と当該地区の自治会からの要望書の回答内容は。③自然資源を有する当該施設に対する当局の考えは。

A 現状には残念な思いがある。老朽化に伴い、水車小屋等、景観上または安全性上問題のある施設は自治会の理解を得て順次撤去している。期間限定イベント等、施設利用の可能性を幅広い視点で検討する。また、クラブハウスについてはまだ使えると考えているので、地元の若手からの施設利用の打診等もあることから、今後は地元の方々の自主的な参加を含めて、年度内に自治会等との情報交換の機会を設定したい。



休止中の遊遊ガーデン



久留嶋 範子 議員

(日本共産党議員団)



人口減少・少子化
対策の具体策は

- Q** 民間組織「人口戦略会議」報告書では、2020年～50年の30年間で、20～39歳の女性人口が50%以上減少し消滅の可能性があると、県内は秋田市を除く24市町村が該当すると分析している。受け止めと、具体的な対策について。
- A** 一つの指標として捉えており、人口減少は国全体の大きな課題であると認識している。市では、若者の市外への流出対策として、地元就職した学生に対し、フレッシュアップ支援事業を実施し、若者の定住促進と地域産業の人材確保に努めている。保育料の無償化や医療費の助成、子育てクーポンの交付など子育てしやすい環境の整備を行っている。
- Q** 物価高対策について伺う。5月

の食品値上げ率は31%となり、今年も最大1万5千品目の商品が値上げされる。6月から暮らしに関わる制度や仕組みが変わる。また、家庭向け電気・ガス料金が値上がりし、家計への負担が拡大する。どう考えているか。

A 昨年度の非課税世帯等への給付金事業に続き、今年度は新たに非課税と均等割のみ課税となった世帯への給付金事業が実施されるほか、税制改正による定額減税が実施される。今後も経済状況を注視し、柔軟に対応していく。

Q 市民ふれあいプラザコムコムのカフェテナントは閉まったまま。今後どのように考えているのか。

A 出店条件の緩和などを検討しながら出店募集に努めていきたい。



閉まったままのカフェテナント

長崎 克彦 議員

(清明会)



5年、10年後の
農業振興政策は

- Q** 当市の基幹産業である農業は高齢化と後継者不足のなかでコメを中心に生産されている。国では「食料・農業・農村基本法」を改正。世界の食料危機に備えるため、コメ・小麦・大豆等の生産拡大を目指すそうとしている。そのためには、生産基盤の確保、農地集積、スマート農業などの対策が急務である。現状の把握と将来構想について伺う。
- A** 担い手の確保やスマート農業、農業DX(デジタルトランスフォーメーション)、水田整備等生産基盤の強化を図り、多様化する消費者ニーズを的確に捉えた儲かる農業の実現を目指していく。

Q 基盤整備箇所数は何箇所あるのか。

A 9地区の予定箇所がある。

Q 早い事業採択を希望する。

また、多くの市民がデマンド型タクシーの増設を望んでいるが、増設の考えは。

A 路線バス運行区域外で現在6路線を運行している。

Q 市民は特に病院への足の確保を望んでいるが。

A 増設に対しては、地域公共交通協議会での意見、乗車状況、利用者の意見、地域の要望等を考え、随時見直しをする。

Q 下校時のスクールバスに住民の乗車を。

A 児童、生徒の安全等を考え、課題の整理や実態調査を行い、関係機関と協議、検討する。



ドローンでの農薬散布

三浦 倫美 議員

(日本共産党議員団)



公共交通拡充へ 更なる取り組みを

Q デマンド型乗合タクシー、4月からの一部再編の経緯や周知は。

A 「岩谷線」は、これまで自治会主導の定時・定路線で運行していたが、運行実績や綴子地区の自治会等の要望を踏まえ、運行区域を変更し、デマンド型乗合タクシーとして再構築を行った。

「市民病院南線」の変更については、利用者減少で路線維持が困難になっていた路線バス「米内沢・ダム線」の廃止に伴い、当該路線に含まれていた滝ノ沢、長下地域を運行区域に追加した。

市広報や市ホームページ、自治会への説明やチラシ配布で周知。

交通事業者、住民代表、道路管理者等で構成する「地域公共交通活性化協議会」で協議し、秋田県

ハイヤー協会北秋支部の各事業者のご協力の下、4月から運行開始。

Q 先日、コムコムのバス停でバスを待っていたところ、「循環バスで自分の目的地まで行くにはどれに乗ればよいか分からない。」との声が寄せられた。工夫できないか。

A 市民ふれあいプラザ内の秋北バス鷹巣案内所での案内や停留所時刻及び運行ルートを掲示しているが、より分かりやすい標記と案内、周知方法等を工夫するなど、運行事業者等とも協議し、改善に努める。

Q 公共交通拡充へ、住民要望の把握と要望実現への更なる努力を。

A 先月設置した「市民ポスト」の活用も含め、様々な機会に住民要望把握に努め、交通事業者等とも協議を行いながら取り組んでいく。



広報4月号の公共交通情報

永井 昌孝 議員

(清明会)



登下校時の熊対策 自主防災組織拡大

Q 銃砲の購入補助について、市からの補助を検討しているか。

A 鉄砲等の購入に対する市独自の支援を検討している。

Q 熊の目撃情報があった際、下校時に保護者が迎えに来るまで臨時的に児童クラブの利用を可能にすることは。

A 保護者が迎えに来るまで教職員が付き添い、児童クラブ未登録者への臨時的な受入れも状況を見て判断する。

Q サーモグラフィ付きドローンの配備状況について。

A 操作等に高度な技術を必要とし、民間事業者においても実証実験段階であることから現在は配備していない。今後の動向を注視していく。

Q 自主防災組織の現状と課題について。

A 自主防災組織として市に届出があった49団体のうち、積極的に避難訓練や防災訓練を行っている組織がある一方で、会員の高齢化やリーダーの成り手不在といった問題が原因で、運営体制を整えることに負担を感じている組織や、結成以来、活動をされていない組織も存在している。様々な場面で自主防災組織の意義、補助金の活用についてPRするとともに、活動の実施状況の把握と運営の強化、防災訓練等の開催や参加などを通して防災意識の醸成と地域防災力の強化を図っていく。



赤外線ドローンでのクマの生息調査
(写真=秋田魁新報社提供)

松橋 久敏 議員

(清明会)



内陸線運営費補助
減額について

Q 秋田内陸線の持続的運行に係る基本合意書が改定され、運営費補助が2億円から令和6年度は1億9千5百万円に変更されたが、運営費補助減額の経緯は。

A 沿線人口の減少など、内陸線を取り巻く環境も大きく変わってきていることを踏まえ、一昨年から、さらなる運行の持続化を目指し協議を重ねてきた。その結果、企画切符の料金改定やインバウンドをはじめ輸送人員の回復などにより、経常損失額の縮減を見込むことができるかと協議が調ったことから、新たな負担ルールを求める基本合意書の改定に至った。

Q 運営費補助減額に伴う収支計画は実現可能であるか。また、運営費補助減額により現行のサービス

水準を確保できるのか。

A 収支計画については、これまでの実績から実現可能と考えており、サービス水準についても、これまでの田んぼアートや企画列車などの取組により確保できるものと考えている。また、現在、国からの支援の拡充について協議や準備を進めており、サービス水準の確保と新たな合意書に基づく収支計画が実行されるよう、引き続き四者で取り組む。

Q 旧大阿仁小学校の利活用についての考えは。

A 大阿仁地区の市有施設は、大阿仁公民館を含め老朽化が進んでいることから、公民館機能等を旧大阿仁小学校校舎へ移転することを含め検討している。



内陸線比立内駅

福岡 由巳 議員

(無党派)



高齢者が利用する
施設等の改善を

Q 大野台ハイランド憩の森の条例改正により新たな施設が求められる。特に休憩所(雨宿り含む)、トイレ、物置等の設置が急がれる。

A この改正による新たな計画を策定する予定はない。

Q 憩の森グラウンドゴルフ場は市の5大会全部を開催している。草刈委託料を上げるべきでないか。

A 先月、市協会長、合川支部長と面談したが、苦情は聞いていない。
Q 県議杯の大会の際、開会式時は晴れていたが、昼近くに雷雨となり、天候が急変し避難が大変だった。きちんと施設を設置すべきだ。
A 既存の施設を現状のまま利用していたらいい。

Q 老人憩いの家ことぶき荘は廊下に雨漏りがあったり、ストーブが

故障していたり、風呂場が整備されていないなど管理者として速やかに環境整備すべきでないか。

A 年1回指定管理者と連絡調整会議を実施し、協議しながら計画的に実施している。雨漏りについては順次修理していく予定。

Q 指定管理料は年195万円前後だが、諸物価高騰の折、他の管理施設同様上げるべきでないか。

A 令和4年の水準で計算しているが、その時点から物価高騰も含め算定している。

Q 森吉山荘の募集締め切りが迫っている。応募があるのか。

A 現在まで応募者はいない。

Q 今後の運営再開計画はどうか。
A 応募がない場合も想定し、施設の在り方を広く探っていきたい。



大会数増加の大野台グラウンドゴルフ場

全国市議会議長会表彰



6月定例会初日の冒頭、第100回全国市議会議長会定期総会において議員10年以上在職者として表彰された三浦倫美議員に表彰の伝達を行いました。

伝達式では、堀部議長から表彰状が手渡されると、議員や当局の出席者からは拍手が送られ、長年にわたり地方自治の発展と振興に尽力された功績をたたえました。

市議会へのご意見を募集しています

- 対象 市内在住又は通勤通学をしている方
- 方法 手紙、FAX、メールなど（文字で読める形式のもの）
- 公表 ホームページや広報紙で公表する場合があります。
- あて先 〒018-3392
北秋田市花園町19番1号 北秋田市議会事務局
- メール gikai@city.kitaakita.akita.jp
- FAX (0186) 62-4845

<https://www.city.kitaakita.akita.jp/genre/shigikai>

議会を傍聴してみませんか？

市議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題を審議しています。開かれた議会を目指し、どなたでも本会議の傍聴が可能となっていますので、市議会の活動状況をぜひご覧ください。お待ちしております。

次の定例会は9月の予定です

各常任委員会の会場

- ▷総務文教（森吉庁舎）
- ▷市民福祉（合川庁舎）
- ▷産業建設（阿仁庁舎）

広報広聴特別委員会

- 委員長 五代儀義富
- 副委員長 松橋久敏
- 委員 福岡由巳
- 委員 久留嶋範子
- 委員 中嶋洋子
- 委員 長崎克彦

議会の動き

<4月16日～7月15日>

4月

- 16日・広報特別委員会
- 17日・議会運営委員会
- 18日・第76回東北市議会議長会定期総会（～19日）
- 25日・北秋田市商工会青年部通常総会懇親会
- 26日・第2回臨時会

5月

- 5日・風賢央新十両昇進並び押尾川部屋創設祝賀会
- 13日・大館能代空港利用促進協議会監査
・森吉山ダム整備促進協議会監査
- 14日・全国自治体病院経営都市議会協議会第52回定期総会
- 17日・国道46号「高規格道路」盛岡秋田道路整備促進期成同盟会、大曲鷹巣道路整備促進期成同盟会 令和6年度合同総会
- 20日・北秋田市老人クラブ連合会総会
- 21日・大館能代空港利用促進協議会総会
- 22日・全国市議会議長会第100回定期総会
- 27日・議会運営委員会
- 29日・議会運営委員会
・米代川治水期成同盟会、秋田県北部国道7号整備促進期成同盟会、日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県北部期成同盟会 令和6年度合同総会
- 30日・令和6年度八戸・能代間、北東北横断道路整備促進期成同盟会総会
- 31日・太平湖湖水開き及び安全祈願祭

6月

- 2日・第40回ふるさと踊りと餅っこまつり
- 6日・本会議
・広報広聴特別委員会
- 10日・本会議 一般質問①
- 11日・本会議 一般質問②
・議会運営委員会
- 12日・総務文教常任委員会
・市民福祉常任委員会
・産業建設常任委員会
- 18日・議会運営委員会
・6月定例会（最終日）
- 21日・北秋田市議会商工会活動を支援する議員連盟研修会
- 26日・主要地方道比内大葛鹿角線整備促進協議会設立総会

7月

- 4日・令和6年度東北日本海沿岸市町村議会協議会役員会・総会（～5日）
・令和6年度能代港湾振興会総会
・令和6年度洋上風力発電期成同盟会総会
・能代港開港50周年式典
- 8日・令和6年度県道矢坂糠沢線整備促進期成同盟会理事会・総会
- 9日・秋田県北部地域夏期合同要望
・令和6年度「高速道路ネットワークを利用した地域づくりフォーラムinあきた」
- 10日・議会運営委員会所管事務調査（～12日）